

## ロビン・フッドと行商人

- 1 さあさあ 皆さん お聞きなさい  
ロビンとスカロックとジョンの話を  
多くの方々を楽しませてきたように  
きっと愉快的気分にしてくれましょう
- 2 高貴な血を引く三人の  
弓の腕は折紙付き  
弓矢は長く 腕は立ち  
それはそれは評判の射手たち
- 3 これから語る物語は  
ある夏の日の出来事  
国王の鹿を射るために  
シャーウッドの森に行ったときのこと
- 4 三人が道で出会ったのは  
三人連れの行商人  
荷物を背中に縛り上げ  
地方の市いちに向かっていたところ
- 5 一ヤード半の高級オークの棍棒を  
三人それぞれ手に持って  
ノッティンガムに向かっていました  
これは後でわかります
- 6 「行商人が三人やって来る」と  
ロビンは仲間に言いました  
「奴らがここを立ち去る前に  
背中せなかの荷物の中味を見てやろう
- 7 「これは 皆さん」とロビン・フッド  
「どちらに向かっておられる  
ちよつと一休みして行かれぬか  
皆さん長旅でお疲れであろう」
- 8 「休む必要は無い 先を急ぐ  
ノッティンガムに急ぎ用がある」  
「正直におっしゃるがいい」とロビン・フッド  
「皆さん 難儀な旅で汗だくですぞ」

9 行商人らは 丘を越える旅また旅で

諍いさかいをする気力もありません

「やいやい 生まれ」とロビン・フッド

「ここは俺の土地だ

10 「ここは俺の縄張り 狩猟の場だ

知らなかったとは言わせない

なんと大胆不敵やからな輩だ

先を急ぐとは無法者に違いない」

11 どんな相手かを確かめようと

行商人らは振り向きました

しかし 返事をするともなく

ふたたび道を行きました

12 ロビン・フッドは愛用の

立派な矢を抜き 弓を引きました

矢は疾風はやてのごとく飛んで行き

後ろに行く行商人の荷物を貫きました

13 矢が荷物に当たったのは幸いでした

さもなくば 命を落すところでした

矢は背中の皮膚まで届きましたが

荷物に守られてそれ以上は進みません

14 行商人らは荷物を投げ捨て

ロビンが来るのを待ちました

「だから生まれと言っただろう」とロビン

「聞かないおまえらが悪いのだ

15 「一体何者だ 名乗らなければ

クリスピヌスに賭けて 即刻頭をかち割るぞ

それとも 何人がかりでもかかって来るか

名乗るか勝負か どちらか選べ

16 「俺は ロビン・フッドで

これはスカロックにリトル・ジョン

見での通り 三対三だ

度胸があるなら さあひと勝負」

17 行商人の一人が躍りかかると

ロビンの弓が砕けました

スカロックとジョンも

他の二人に苦戦しました

18 「手を止める」とロビン・フッド

「おまえらのオークの棍棒にはかなわぬ  
俺たちも棍棒を手に入れるまで

ちよっと待ってはくれまいか」

19 サークスのキットと名乗る行商人が

その申し出を受け入れました

三人は行商人に仕返しするため

それぞれ棍棒を持ちました

20 棍棒がうなりをあげ

相手の背中を打ちました

荷物を降ろさなければよかったと

行商人らは後悔しました

21 しかし 行商人らは自由自在の棍棒さばき

とうとうロビンも後悔しました

猛攻を受けたスカロックもジョンも

顔面蒼白になりました

22 ついにキットのオークの棍棒が

うなりをあげてロビンの頭を一撃し

ロビンはよろめき ふらつき 大地に倒れ

周囲の木々もまわりました

23 「手を止める」とリトル・ジョン

スカロックも言いました

「見てみる お頭かしらが殺された

二度と口を開くまい」

24 「まさか死んではないだろう」とキット

「この男はいい奴だが

賢明になるよう学ばせるんだな

行商人の邪魔をしないようにと

25

「袋の中にあるバルサムが  
すぐに傷を治してくれよう」  
キットは 苦しく喘ぐロビンの口に  
薬草を流し込みました

26

「それでは失礼」とサークスのキット  
「わしらに出会ったことを口外するな  
言いたいのなら こう加えろ  
難儀な目にあい 汗だくだったと」

27

行商人らは 気絶したロビンを放って  
ノッテインガムへと急ぎました  
スカロックとジョンが看病するうち  
ついにロビンは目が覚めました

28

ロビンは口に入ったバルサムを  
いったんは飲み込みはしましたが  
次の瞬間 吐き気を催し  
すっかり吐き出したのでした

29

スカロックとジョンは  
気を失った頭<sup>かしら</sup>を見守って  
ひどい悲しみに打ちひしがれ  
両目も髭も 顔中を涙で汚していました

30

こうして事件は落着きました  
喧嘩を仕掛ける際には ご注意を  
相手が手強くないかを確かめましょう  
さもなければ ひどい目に遭いますよ

(吉田友紀訳)